

2020年

CIRレポート3月号



## 中国の結婚式について（二）

国際交流員 楊蕊（中国）

皆さん、こんにちは。中国の国際交流員楊蕊です。時間が経つのは早いですね。あっという間に3月になりました。日本へ来てからもうすぐ一年になります。一年間だけ滞在する私の任期は4月の中旬頃に終わるため、最後の CIR レポートになります。皆さんとの別れをすごく名残惜しく思いますが、帰国したらぜひ日本で感じたことや山口県の魅力を地域の人に紹介して、国際交流を促進する役割を続けていきたいと思っています。

前回は中国の結婚式の準備と朝の儀式を紹介しました。今回はその続きを紹介したいと思います。



朝の儀式が終わって、親戚と友達が休んでいるうちに、新郎新婦と伴娘伴郎はロケに行きます。ロケというのは、昼の儀式前の時間を使って、ウェディングドレスを着て近くの公園に行って記念写真を撮ります。もちろん、髪型も変えてメイク直しもします。伴娘はかわいい伴娘服で、伴

郎はカッコいいスーツで、一緒にロケに行ってもらいます。中国の1月が一番寒い時期で、薄いウェディングドレスを着て外で写真を撮るのはつらかったです。皆は冷たい風の中で、わなわな震えながらいい写真が撮れました。



ロケが終わって、会場に向かいます。着いたとき、会場はもうきれいに飾られて、ゲストもたくさん集まってにぎやかでした。本番が始まる前にリハーサルが必要です。司会者に主な段取りを説明してもらって、一回リハーサルしたら、急いでメイクに行きます。メイクしている間、会場からウェディングソングが流れてきました。それを聞いて、自分は急に緊張して、いよいよ本番だと思いました。

結婚式は午前11時58分から始まります。なぜ12時じゃなくて、11時58分なのか、不思議に思う人はたくさんいるかもしれません。実は、これには中国ならではの特別な理由があります。中国で「8」は縁起のいい数字です。そのため、おめでたい儀式などの開始時刻を、わざと「8」を入れた時間にするわけです。12時だったら、11時58分や48分などの時刻を使います。

11時58分になったら、司会は舞台上がって**結婚式の開始**を発表します。基本的には前もって作られた台本に沿って挙式を進めていきます。基本的な流れは次のような感じです。

・**伴娘伴郎入場**。普通は伴娘伴郎が対になって、手をつないで一緒に登場します。モデルみたいに、舞台上でちょっと歩いたら退場します。

・**新郎入場**。才能のある新郎は、ラブソングを歌ったり、ダンスをしたりしながら登場するのが人気です。

・**新婦と新婦の父入場**。父が私と一緒にバージンロードを歩きます。舞台上上がったら、向こう側に私の愛している彼が待っています。彼は私に向かって歩いてきて、手にきれいな花束を持っています。父は私の手を彼の手へ渡して、三人でハグしたら、父が振り返って退場します。

・**プロポーズ**。新郎は片膝をついて花束を渡します。新婦はその花束を受け取って、みんなの祝福と拍手の中で幸せな道を歩き出します。そこから、天使みたいなかわいい子供が前に花びらをまきながら、道を導いてくれます。



- ・**指輪交換**。新郎新婦は向き合って、誓いの言葉を述べたら、愛の指輪を交換します。
- ・**両親入場**。両家の父母は手をつないで入場して、父たちは代表してスピーチをします。
- ・**ゲスト代表挨拶**。普通は新郎新婦が尊敬している人が来場の皆様を代表して、お祝いの挨拶をします。

・**ブーケトス**。これは儀式の最後の余興ですが、新婦は後ろ向きになって未婚のゲストに向かって花束を投げます。それをキャッチできた人は近く結婚できるという噂があるから、みんな必死に奪い合っています。これもよくあるケースですが、花束をキャッチできた男性が、すぐ、席に座っている彼女に向かって走って行って、その場でプロポーズします。それでみんな盛り上がります。



・**退場とお色直し**。新郎新婦が退場して、ゲストは食事を開始します。新郎新婦はほとんど食事を取る時間がないです。新婦は赤い服に着替えて、髪型もメイクもまたやり直します。



・**再入場**。新郎新婦また両親たちは舞台に並んで、司会者は乾杯の挨拶を述べてから、みんな一緒に乾杯します。あとは各テーブルへ挨拶に回って、お酒を勧めます。

・**ゲストが随時退場**。ゲストが食べ終わったら、随時退場しますので、新郎新婦は早く受付のところで待っておかないとゲストの見送りに間に合いません。

ゲスト全員が退場したら、昼の披露宴はこれで終わります。新郎新婦はやっと休憩時間を取ることができます。

ちょっと休んで、夜はまた全国から来られた**友達と食事**します。その時はそんなに多くのこだわりがないから、気軽にお酒を飲んだり、昔のことをおしゃべりしたりすることができます。大学を卒業してからずっと会ってない友達に会えて、やはりうれしかったです。

前日の23時から当日22時まで、緊張した一日でした。でも、一生に一回の結婚式ですから、誰でも後悔しないよう、いい結婚式を挙げて、一生忘れない思い出を作りたいですね。

もちろん、疲れますが、結婚式に参加してくれたお客様が喜んでくれるなら、価値があると思います。

本文で使っている写真はすべて自分の写真です。

## 中国的婚礼（二）

大家好，我是中国的国际交流员杨蕊。时间过得真快啊，转眼间已经到3月份了，我来日本马上就要一年了。我在日本的任期仅有一年，4月份就要回国了，所以今天是最后一次CIR报告。我是非常舍不得大家的，回国之后一定将自己在日本的所想所感以及山口市魅力宣传给当地的居民，继续促进两国间的国际交流。

上回说到了中国结婚典礼的准备工作以及早上的仪式，这次我将继续为大家介绍。

早上的仪式结束后，在各位亲朋好友稍事休息的时候，新郎新娘还有伴郎伴娘要去拍外景。所谓拍外景就是利用中午典礼前的时间，穿上婚纱去附近的公园拍纪念照。当然，发型和妆容都要重新做。伴娘穿着漂亮的伴娘服，伴郎穿着帅气的西装，跟着我们一起去拍外景。中国的1月份是最冷的季节了，在这个时候穿着薄薄的婚纱拍照真是太痛苦了。但幸运的是，大家在瑟瑟发抖中拍到了好看的照片。

外景结束后，开始向会场赶去。到达会场的时候，会场已经被装饰得特别漂亮，宾客也都来了很多，十分热闹。典礼开始前还有彩排，主持人给我们讲述一下大体流程，然后做一次彩排之后，又要赶紧去化妆。在化妆的时候，从会场传来婚礼的音乐。听到这个音乐，我一下子紧张起来，我心想，终于要上场了。

结婚典礼是中午的11点58分开始。为什么是11点58分开始而不是12点呢？应该有很多人不能理解吧。实际上，这里隐藏着中国特有的原因。在中国，数字8是吉祥数字，因此，有值得庆贺的仪式时，开始时间中都会刻意将8加进去。如果打算12点开始的话，那就不用11点58分或者48分等。

到了11点58分，主持人站上舞台宣布婚礼的开始。仪式的进行基本上都是按照提前准备好的台本进行。基本流程如下：

- 伴娘伴郎入场。一般是伴娘伴郎成对牵手入场，像模特一样在舞台上走一圈之后再退场。

- 新郎入场。有特长的新郎可以一边唱着情歌或者跳着舞入场，这是现在特别受欢迎的出场方式。

- 新娘和新娘的父亲入场。父亲和我一起走过红毯，站上舞台。对面站着我所爱的人，他手里拿着美丽的手捧花，向我走过来。父亲将我的手递给他，三人一起拥抱，父亲转身退场。

- 求婚。新郎单膝跪地，将手捧花递给新娘。新娘接过手捧花，在各位的欢声祝福中，两人一起走向幸福之路。在前面有天使一样的花童为我们撒花、引路。

- 交换戒指。新郎新娘面对着面，互相立下爱的誓言，交换爱的戒指。

- 双亲入场。两家父母手牵手入场，父亲作为代表致辞。

- 贵宾致辞。一般是新郎和新娘所尊敬的人作为代表，向新人致以祝福。

- 抢手捧花环节。这可以说是典礼结束前的一个小高潮了。未婚的宾客上台来，新娘背对他们抛出手捧花，据说抢到捧花的人近期就能结婚，所以大家都拼命争抢。近期，出现了这样的热潮，抢到手捧花的男生立刻奔向在席的女友身边，当场求婚，场面特别热闹。

- 退场换装。新郎新娘退场后，宾客开始用餐。但新郎和新娘是没有时间用餐的，新娘要立刻换上红衣服、换造型。

- 再入场。新郎新娘及双方父母站在台上，由主持人致祝酒词，大家一起干杯。之后轮流去各个酒桌敬酒劝酒。

- 宾客随时退场。宾客吃饱喝足就可以随时退场，所以新郎新娘要早点去接待处等着，送宾客。

当所有的宾客都退场了，婚礼也就算结束了。新郎新娘终于抽出一点休息时间了。

稍微休息一下，晚上还要跟来自全国各地的朋友一起吃饭。这次就没有那么多拘束了，喝喝酒，聊聊过往。自从大学毕业后，有很多朋友就一直没有见到，借这个机会能够见到，真是太开心了。

从前一天的 23 点开始到当天的 22 点才结束，真是紧张的一天啊。但一生就一次的结婚典礼，谁都想办得好一点，以后不会后悔，成为一生难忘的回忆。累归累，但宾客能够开开心心享受其中得话，我觉得也是值得的。